

令和4年度
第3回上尾市立中学校給食共同調理場運営委員会次第

日時：令和4年10月27日（木）

午後2時～

場所：中学校給食共同調理場

2階研修室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

今後の給食提供方式について

- ・ 中学校給食の現状と課題 ... 資料1
- ・ 学校給食に関するアンケート実施概要 ... 資料2
- ・ 各方式のメリット・デメリット ... 資料3

4 その他

- (1) 令和5年度中学校給食実施計画表（案）について ... 資料4 - 1、2
- (2) 学校給食費の改定について ... 資料4 - 1
- (3) その他

5 閉 会

次回運営委員会予定：11月15日（火）14：00から

中学校給食共同調理場 2階研修室

中学校給食の現状と課題

表 1 に本市の中学校給食における現状と課題について様々な角度から整理し、まとめました。

表 1 中学校給食の現状と課題

項目	センター&サテライト方式(中学校)
衛生管理	<p>〈現状〉 共同調理場及びサテライト調理場ともに現在の学校給食衛生管理基準に適した仕様となっていない。</p> <p>〈課題〉 安全・安心な給食確保のため、現在の学校給食衛生管理基準への適合(作業区域の適切な区分け等)と給食調理員の調理環境の改善を図る必要がある。</p>
喫食までにかかる時間	<p>〈現状〉 共同調理場での調理完了後、学校によっては生徒が喫食するまでに 2 時間※1 を超過しており、喫食までの時間を短縮する必要がある。</p> <p>〈課題〉 喫食までの時間を 2 時間以内に行える調理体制を検討する必要がある。</p>
施設の老朽化	<p>〈現状〉 共同調理場の建物の耐用年数が令和 29 年まで、サテライト調理場は令和 12 年には市内全 11 校中 10 校が建築年数約 40 年となる。</p>
調理体制	<p>〈現状〉 民間業者に人事管理、人員確保、調理を委託しているため、適切な人員で調理業務を実施できている。</p>
食育の推進	<p>〈現状〉 中学校に配置している県費の栄養教諭と共同調理場に配置している市費の栄養士がそれぞれ 2 人おり、その 2 人の栄養教諭が中学校と連携をとりながら食育の指導を行っている。</p>
生徒数	<p>〈現状〉 ほとんどの学校の生徒数は減少傾向にあり、全体の生徒数はピーク時(昭和 61 年)と比べると令和 12 年時点では半数以下に減少する見込みとなっている。</p> <p>〈課題〉 将来の生徒数を見据えた調理体制の見直しが必要となっている。</p>
運営コスト (食材費は除く)	<p>〈現状〉 一食あたりの運営コストは 292 円(食材費は除く) ※他市の一般的なセンター方式での一食あたりの運営コストは 249 円(食材費は除く)</p> <p>〈課題〉 共同調理場とサテライト調理場で調理を行っている。そのためセンター方式のメリットである運営コストの低さの効果が少ない状況であり、より効率的な給食調理を行える調理体制を検討する必要がある。</p>

※1 大量調理マニュアル(厚生労働省)で「調理後の食品は、調理終了後から **2 時間以内** に喫食することが望ましい。」と記載

※2 運営コストとは、施設維持費、衛生管理や調理業務費等の市が負担している金額のこと

学校給食に関するアンケート実施概要

1 調査の目的

本市の小・中学校の給食室は老朽化がすすんでおり、また国の定める学校給食衛生管理の基準を満たした給食施設の更新が必要な状況にあります。そこで、現在の児童・生徒・保護者が求める学校給食を調査するため。

2 実施日

令和4年7月1日から7月21日まで(保護者のみ)

令和4年7月1日から8月31日まで(児童生徒のみ)

3 対象

上尾市内小・中学校に通う児童生徒及びその保護者

※児童生徒とその保護者で異なるアンケート(質問)を実施。

4 回答者数(%)

児童 5580 人(50.9%)、生徒 2788 人(49.6%)

児童の保護者 6,918 人(80.6%)、生徒の保護者 3,624 人(69.6%)

※小・中学校できょうだいがいる場合はどちらか1人分を回答

5 実施方法

児童生徒及びその保護者ともに Web 回答

保護者からの回答結果

設問 1

現在の学校給食に満足していますか。		回答数(%) (小学校) (中学校)	回答率(%)					
			0	20	40	60	80	100
①	満足している	54.64% 35.51%	小					
②	どちらかといえば満足している	38.29% 46.96%	小					
③	どちらかといえば不満	6% 14.62%	小					
④	不満	1.07% 2.9%	小					

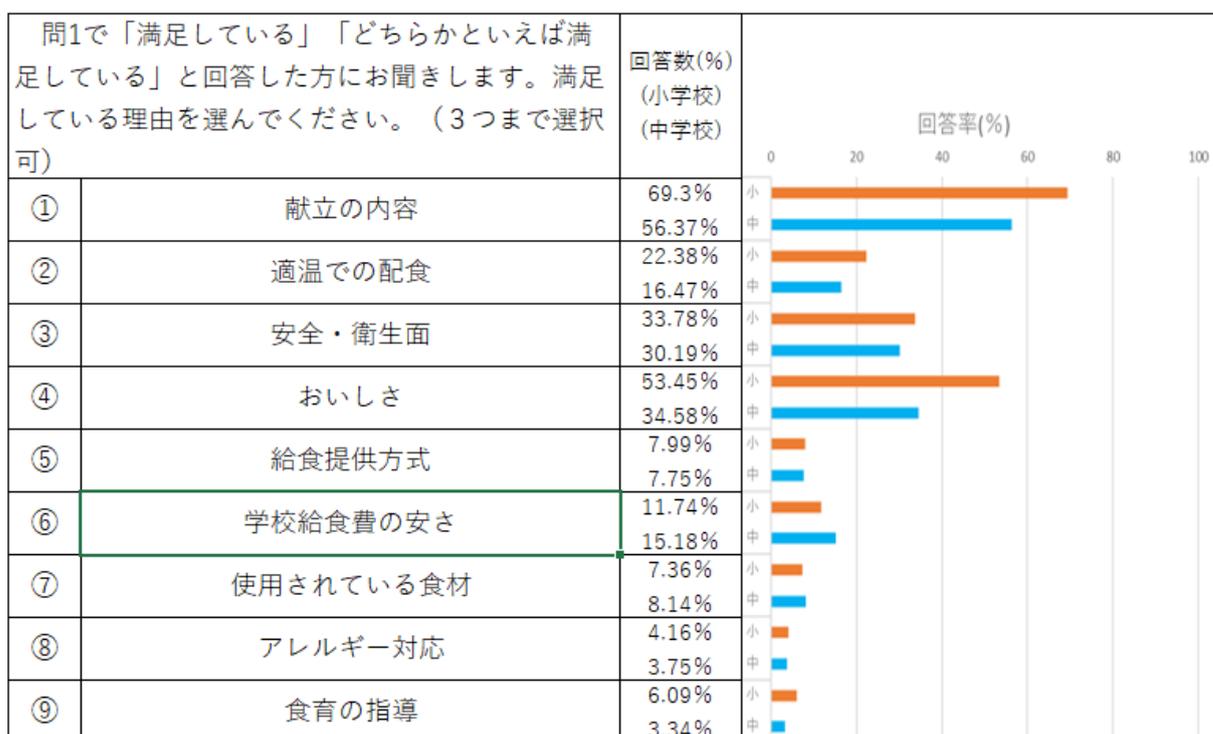
結果

現状の学校給食に「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した小学生の保護者が 92.93%、中学校が 82.47%。「どちらかといえば不満」「不満」と回答した小学生の保護者が 7.07%、中学生が 17.52%。小・中学校ともに 8 割以上が現状の給食を「満足」と回答。

考察

中学校よりも小学校の給食の満足度がやや上回っており、給食に対する満足度に違いがある。

設問2



結果

設問1で保護者が満足している回答した理由としては小・中学校ともに、「献立の内容」、「おいしさ」「安全・衛生面」の順に回答数が多かった。

考察

「献立の内容」「おいしさ」の回答率の差異があり、学校給食に満足している保護者でも小・中学校では理由に違いがあった。

設問3

問1で「どちらかといえば不満」「不満」と回答した方にお聞きします。改善すべきと思われる理由を選んでください。（3つまで選択可）		回答数(%) (小学校) (中学校)	回答率(%)					
			0	20	40	60	80	100
①	献立・品数が不十分だから	4.78% 5.77%	小	中				
②	給食が熱い・冷たいから	0.74% 5.24%	小	中				
③	安全・衛生面が不十分だから	0.48% 1.79%	小	中				
④	おいしくないから	1.78% 10.98%	小	中				
⑤	給食提供方式がよくないから	0.4% 1.32%	小	中				
⑥	学校給食費が高いから	1.3% 2.12%	小	中				
⑦	使用食材が少ないから	0.93% 1.13%	小	中				
⑧	アレルギー対応が不十分だから	0.42% 0.39%	小	中				
⑨	食育の指導が不十分だから	0.66% 0.8%	小	中				

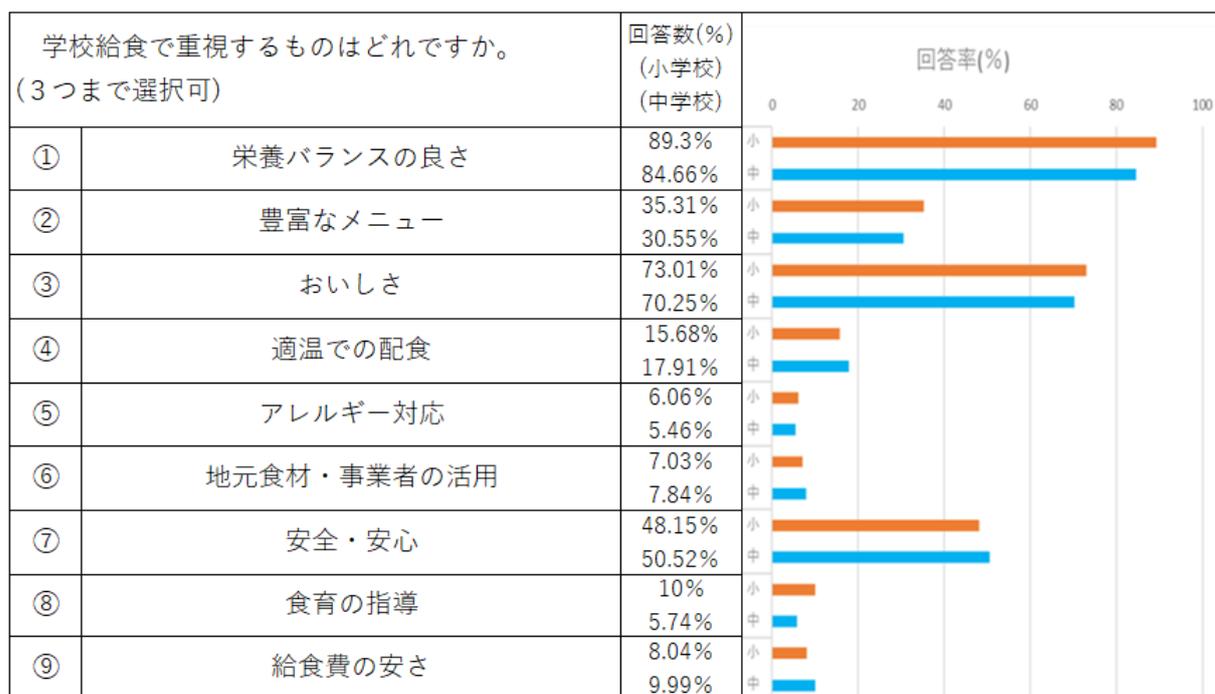
結果

設問1で保護者が不満に思っている理由としては、小学校が「献立・品数が不十分だから」「おいしくないから」「給食費が高いから」の順に回答数が多かった。中学校が「おいしくないから」「献立・品数が不十分だから」「給食が熱い・冷たいから」の順に回答数が多かった。

考察

学校給食に対して不満に思っている理由については小・中学校では大きな差異はなかった。中学校の給食について「おいしくないから」「給食が熱い・冷たいから」の回答率に多少の差異があった。

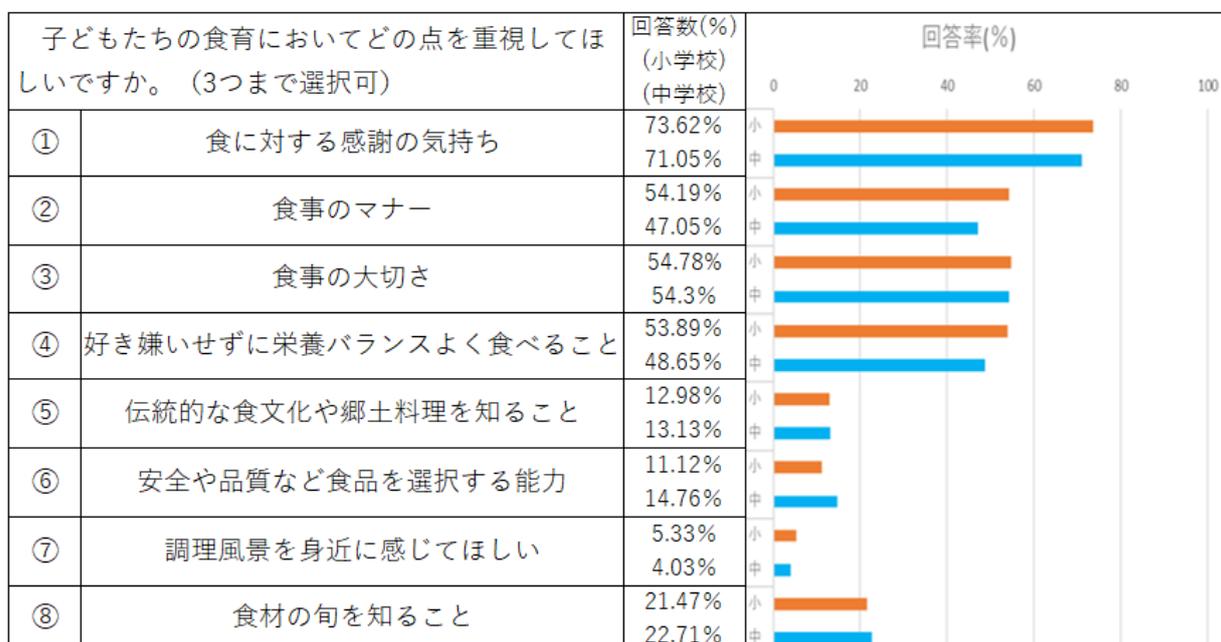
設問 4



結果

小・中学校ともに「栄養バランスの良さ」「おいしさ」「安全・安心」の順に回答数が多かった。

設問 5



結果

保護者が食育において重視してほしい考える点においては、小・中学校ともに「食に対する感謝の気持ち」「食事のマナー」「食事の大切さ」「好き嫌いせずに栄養バランスよく食べる」の順に回答数が多かった。

児童・生徒からの回答結果

設問 1

給食は好きですか。		回答数(%)		回答率(%)	
		小学校	中学校		
①	好き	小	69.1 %	小	69.1 %
		中	53.2 %	中	53.2 %
②	どちらかといえば好き	小	24.8 %	小	24.8 %
		中	32.3 %	中	32.3 %
③	どちらかといえば嫌い	小	4.5 %	小	4.5 %
		中	11.1 %	中	11.1 %
④	嫌い	小	1.4 %	小	1.4 %
		中	3.2 %	中	3.2 %

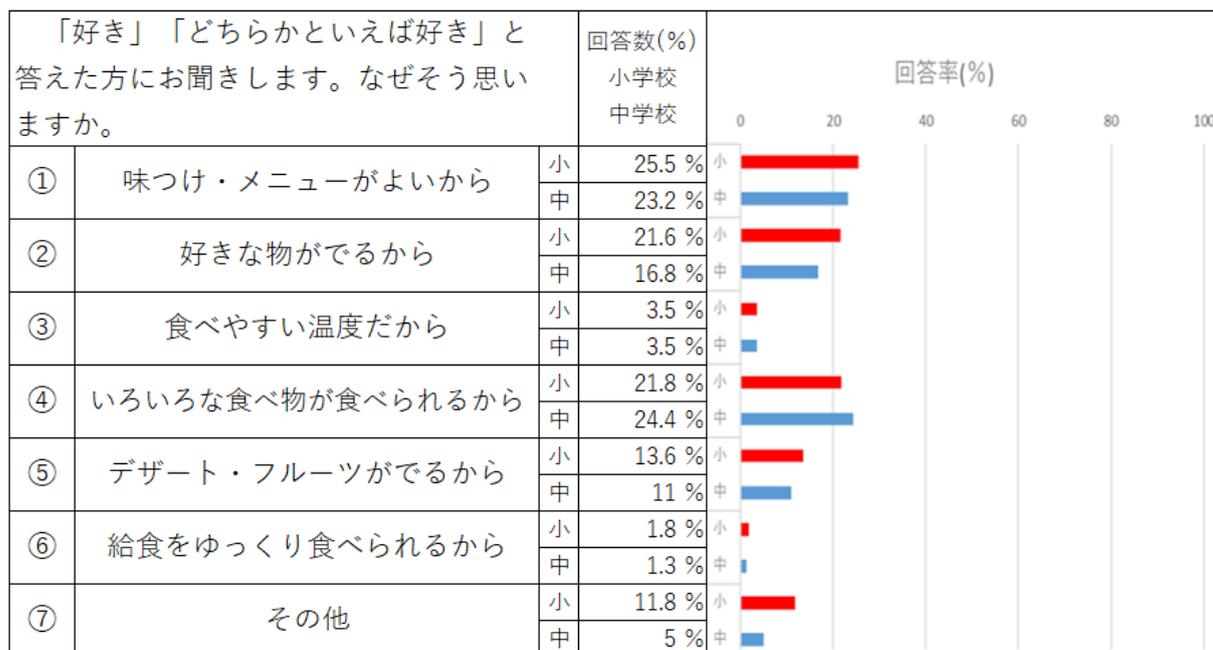
結果

現状の給食を「好き」「どちらかといえば好き」と回答した児童が 93.9%、生徒が 85.5%。
 「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と回答した児童が 5.9%、生徒が 14.3%と回答した。
 約 8 割以上の児童生徒が現在の学校給食を好んでいると回答した結果となった。

考察

「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と回答した児童よりも生徒の方が回答率が高かった。

設問 2



結果

児童では「味付け・メニューがよいから」「いろんな食べ物が食べられるから」「デザート・フルーツがでるから」の順で回答が多かった。生徒では「いろんな食べ物が食べられるから」「味付け・メニューがよいから」「好きなものがでるから」の順で回答が多く、児童と生徒での理由に大きな違いはなかった。

設問3

「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と答えた方にお聞きします。なぜそう思いますか。		回答数(%)		回答率(%)						
		小学校	中学校	0	20	40	60	80	100	
①	味つけ・メニューがよくないから	小	0.6 %	小	■					
		中	3.3 %	中	■					
②	嫌いな物がでるから	小	3.1 %	小	■					
		中	3.5 %	中	■					
③	給食が熱い・冷たいから	小	0.1 %	小	■					
		中	1.2 %	中	■					
④	食べたことのない食べ物がでるから	小	0.2 %	小	■					
		中	0.3 %	中	■					
⑤	デザート・フルーツがでないことがあるから	小	0.1 %	小	■					
		中	0.2 %	中	■					
⑥	食べられる時間が短いから	小	0.8 %	小	■					
		中	3 %	中	■					
⑦	その他	小	0.8 %	小	■					
		中	2.6 %	中	■					

結果

児童では「嫌いな物がでるから」「食べられる時間が短いから」「味付け・メニューがよくないから」の順で回答が多かった。生徒では「嫌いな物がでるから」「味付け・メニューがよくないから」「食べられる時間が短いから」の順で回答が多かった。児童生徒ともに同じ選択肢が上位であった。

考察

どの選択肢においても小・中学校に大きな差異はなかった。

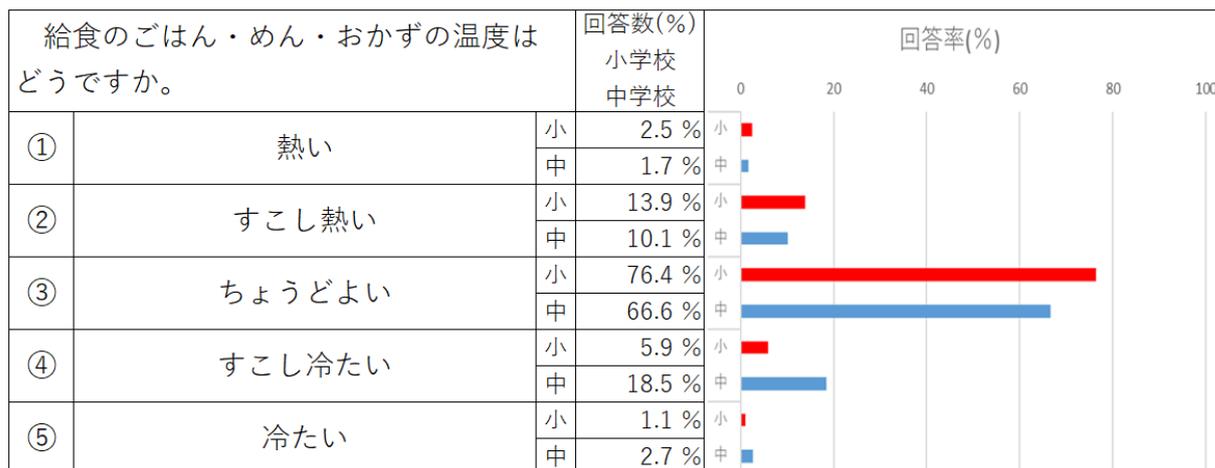
設問4

給食の品数についてお聞きします。何かお願いしたいことはありますか。		回答数(%)		回答率(%)						
		小学校	中学校	0	20	40	60	80	100	
①	多い	小	10.8 %	小	■					
		中	14 %	中	■					
②	すこし多い	小	21.4 %	小	■					
		中	26.3 %	中	■					
③	ちょうどよい	小	58.1 %	小	■					
		中	50 %	中	■					
④	すこし少ない	小	6.5 %	小	■					
		中	7.1 %	中	■					
⑤	少ない	小	3 %	小	■					
		中	2.4 %	中	■					

結果

現在の給食の品数について児童・生徒ともに、「多い」「すこし多い」「ちょうどよい」と回答したのが90.3%であった。

設問 5



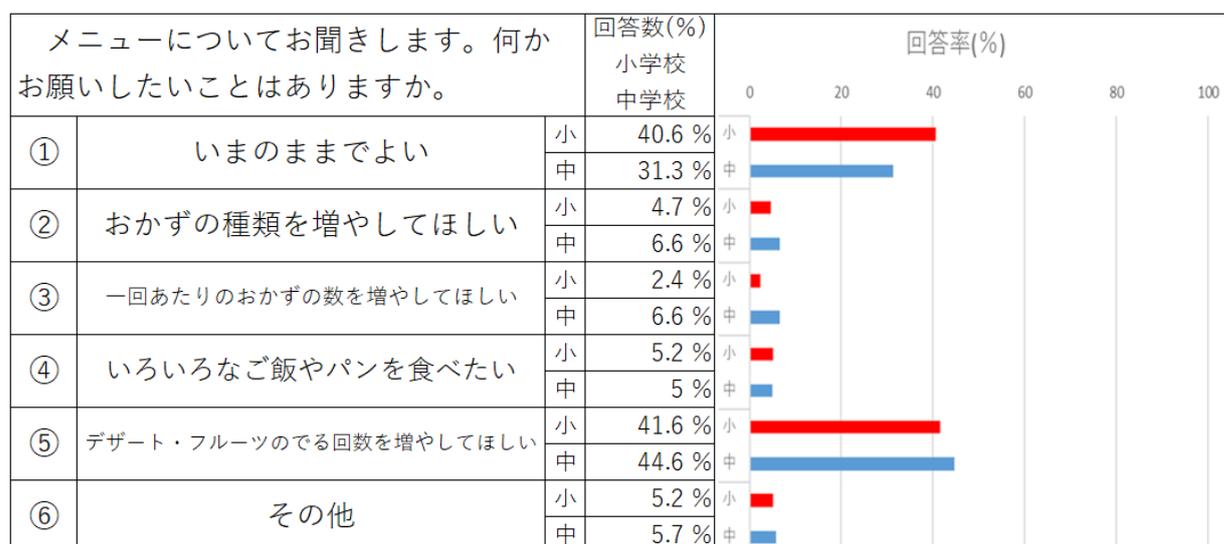
結果

給食の提供温度について児童では「熱い」「すこし熱い」「ちょうどよい」と回答したのが92.8%、生徒では78.4%であった。「すこし冷たい」「冷たい」と回答した児童は7%、生徒は21.2%であった。

考察

回答した21.2%の生徒が既存の提供温度に満足していない。そのため出来上がりの温度を維持できるよう検討が必要となる。

設問 6



結果

児童では、「デザート・フルーツのでる回数を増やしてほしい」「いまのままでよい」「いろいろなご飯やパンを食べたい」の順で多かった。生徒では「デザート・フルーツのでる回数を増やしてほしい」「いまのままでよい」「おかずの種類を増やしてほしい」「一回あたりのおかずの数を増やしてほしい」の順で多かった。

既存給食提供方式のメリット・デメリット

上尾市の既存給食提供方式におけるメリット・デメリットを表に示します。(塗りつぶしをしてしている箇所がデメリットになります。)
また、ご参考までにセンター方式及び親子方式についても記載しています。

項目	市内中学校		親子方式
	市内小学校 自校方式	センター&サテライト方式	
安全・衛生面	<ul style="list-style-type: none"> 調理施設が多数あるため、学校間の衛生管理に差が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理施設が多数あるため、学校(サテライト調理室)間の衛生管理に差が生じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理施設が多数あるため、学校間の衛生管理に差が生じる。
リスク	<ul style="list-style-type: none"> 自校のみの調理のため、食中毒等の発生時の被害規模が最も小さい。 自校に調理施設があるため、配膳にかかる時間が少なく、調理後2時間以内での喫食を行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> センターで複数校の調理を一括で行うため、食中毒等の発生時の被害規模がセンター方式の次に大きい。 主食・主菜においてはセンターからの配送が必要となるため、調理後2時間以内での喫食を達成する上で制約がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 2~3校の調理を一括で行うため、食中毒等の発生時の被害規模が自校方式より大きい。 配送があるが、近隣の学校の配送のため、自校方式に近い提供ができる。
提供温度	<ul style="list-style-type: none"> 自校に調理施設があるため、給食の時間にあわせて給食提供ができ、最も適温での給食提供が行える。 	<ul style="list-style-type: none"> センターで調理する主食・主菜の配送を行うため保溫性の高い食缶等の工夫をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 配送が必要となるため、自校方式より調理時間の制約がある。
食育	<ul style="list-style-type: none"> 各校に栄養教諭等があり、食育指導等を細やかに行える。 調理中において、音、調理員がいることで、児童生徒が身近に給食を感じることができる。 市内生産者等と学校で直接契約ができ、地産地消が行いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> センターで揃う生徒数に応じて栄養教諭等の配置数が決まっており、配置された学校の栄養教諭等が各学校を巡回し、食育の指導を行う。 サテライト調理室があるため、調理中において、音、調理員がいることで、児童生徒が身近に給食を感じることができる。 複数校の調理を一括で行うため、大量の食材が行いづらくなる。 市内生産者等では賄いきれず、地産地消が行いづらくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 親校に栄養教諭が配置される。子校は県費職員(栄養教諭・学校栄養職員)の配置基準に該当しない。 子校は調理施設がないため給食を身近に感じることができない。 市内生産者等と学校で直接契約ができ、地産地消が行いやすい。
コスト(用地取得費は含まず)	<ul style="list-style-type: none"> 最も多くの人員と給食施設を必要とするため、初期費用、ランニングコストが最も大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 民間委託での運営のため、調理員の確保や人事管理を一括で委託でき、安定した運営を行える。 	<ul style="list-style-type: none"> 2~3校の調理を一括で行うため、自校方式よりも少ない初期費用、ランニングコストで運営を行える。
人員確保	<ul style="list-style-type: none"> 多くの人員を必要とするため、人員確保が困難であり、給食運営が不安定になりやすい。(現在調理員の欠員が懸念している) 	<ul style="list-style-type: none"> 調理を集約できるため、作業効率が良く、少ない人員で調理を行え、人員確保がしやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 2~3校の調理を一括で行うため、自校方式よりも少ない調理員で運営を行えるため安定した運営を行いやすい。
作業効率	<ul style="list-style-type: none"> 各校で調理作業を行うため、センター方式よりも多くの人員が必要となり、作業効率が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> センターでは調理を集約化できているが、サテライト調理場で多くの調理員を必要としているため、非効率になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 2~3校の調理を集約化できるため、自校方式よりも効率良く給食運営を行える。
校舎への影響	<ul style="list-style-type: none"> 現在の衛生管理基準に適合するため、増築が必要となり校舎更新に影響がある。 また、自校式への更新は給食室を更に拡張する必要があることから難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の衛生管理基準に適合するため、増築が必要となり校舎更新に影響がある。 また、自校式への更新は給食室を更に拡張する必要があることから難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 大幅な増築が必要となり、校舎更新に大きな影響を与えてしまう。

4 その他

(1) 令和5年度中学校給食実施計画表(案)について

ご参考までに、例年どおり給食を実施する場合の令和5年度の実施計画表(案)を資料4-2のとおり提示いたします。但し、(2)に記載してあります学校給食費改定の検討とあわせて、次回の運営委員会で事務局案を提示させていただきます。

(2) 学校給食費の改定について

コロナ禍や社会情勢の変更における物価高騰等に直面し、中学校給食の食材の調達に苦慮しています。令和4年度第2回運営委員会(書面審議)にて、学校給食費の見直しを行い、委員の皆さまには「中学校給食費取扱い基準」の改定にご承認いただいたところです。

このことにつきましては、教職員等の給食費を改定し、生徒分の学校給食費は、国からの交付金を活用することで据え置くことができました。

平成26年度の改定以降、現在まで学校給食費を維持してきましたが、安全・安心な給食を維持するためには、現在の情勢を踏まえて学校給食費を見直す必要があることから、以下のとおり現状についてご報告いたします。

物価高騰の状況

【中学校】生徒数 5,617人(令和4年4月1日時点)

・R4年4月1食単価平均 - R3年4月1食単価平均 = 物価高騰相当分

320.01円 - 303.72円 = 16.29円

物価高騰相当分である16.29円は令和4年7月～令和5年3月分の133回分について、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用して補助を行いました。

16.29円 × 5,617人 × 133回。 **補助額の合計 12,169,624円**

(補助にあたっては、学校毎に計算して端数を切り上げています。)

(参考) 現行「中学校給食費取扱い基準」

1 給食費

(1) 月額 / 5,200円(4月～7月、10月～3月)

6,440円(9月「8月の4日分を含める」)

徴収・返金のための1食単価 310円

(2) 牛乳だけの給食

適正な事由により、牛乳だけの給食を実施する場合は、牛乳代だけの金額とする。

牛乳代(消費税を含む) × 飲用した回数 = 徴収額(1円未満切り捨て)

(3) 教職員等の給食費

月額 / 5,460円(4月～7月、10月～3月)

6,780円(9月(8月の4日分を含める))

徴収・返金のための1食単価 330円

令和5年度 中学校給食実施計画表(案)

資料4-2

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		日							
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		火	水	木	金	土	日	
1	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	①	
2	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	②	
3	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	③	
4	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	④	
5	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	⑤	
6	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	⑥	
7	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	⑦
8	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	⑧	
9	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	⑨	
10	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	⑩	
11	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	⑪	
12	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	⑫	
13	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	⑬	
14	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	⑭	
15	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	⑮	
16	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	⑯	
17	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	⑰	
18	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	⑱	
19	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	⑲	
20	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	⑳	
21	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	㉑	
22	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	㉒	
23	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	㉓	
24	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	㉔	
25	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	㉕	
26	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	㉖	
27	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	㉗	
28	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	㉘	
29	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	㉙	
30	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	㉚	
31	給食回数	13回	20回	19回	11回	4回	17回	21回	19回	14回	16回	19回	合計 186回																			

※総合体育大会・市内新人大会・体育祭振替休・卒業証書授与式・開校記念日については、給食の実施なし。